会派みどり
渡邊 龍之

固定資産税について

質問 滞納繰越分の調定見込み額3億1、322万5千円における滞納者（社）の件数と収入見込率8・5％について伺う。

答弁 予算積算時に税目ごとに現年分、滞納繰越分それぞれについて、その時点における調定額と前年度決算の収納率を勘案して収納見込み額を算出し、そこから不納欠損処分見込み額を差し引いて算出しています。滞納者の件数ではなく調定額総額、収納見込み額総額で計算しているため、件数については勘案していません。収入見込率が他の税目と比べて低いのは、市道民税や国民健康保険税が所得に応じて税額を算出するのに対し、固定資産税は所有する資産の価値により税額を算出していることも要因と考えられます。

行財政改革の推進について

質問 滝川市立病院経営改善計画実施委託料で2、076万8千円を計上しているが、すでに改善計画では令和2年に実施すべき内容が示されている。委託業務の内容は、具体的にどこに集中して改善に結び付けるのか伺う。

答弁 看護師の確保、業務改善・タスクシフティングに向けた取り組みの推進、新規入院患者の減少対策として地域の開業医との連携強化、救急受け入れの強化、地域の介護事業者などとの連携強化に重点を置き、患者さんを紹介してもらう仕組みを再構築することで医業収益の向上を図ろうとするものです。また、効率的な病床運営に向けた仕組みづくり、経営管理の仕組みも同時に構築していくことで、将来に渡り市民の期待に応え、地域の中核病院として安定的な医療を提供できるよう市役所・市立病院・計画策定事業者が連携して経営改善に努めていきます。

たきかわ観光国際スクエアの運営管理について

質問 国際交流の拠点として、外国人観光客の対応に具体的な事業の予定はあるのか。栄町3-3地区活性化との結び付けの考えと、外国人に対するアンケート調査を行う考えについて伺う。

答弁 観光部門としては、観光案内、インバウンド観光の推進、JR・バス利用者への情報発信強化、観光資源を学ぶ講座やワークショップの開催、特産・土産品紹介などを検討しています。

国際部門としては、多文化共生の理解促進のための講演や研修会の開催、国際交流イベント、語学講座、外国人相談窓口、国際協力・交流に関するパネル展示などを検討しています。

3-3地区活性化については、当施設を市の玄関口として位置づけ、ここでさまざまな情報を得て少しでも長く時間を過ごしていただくことを想定した取り組みを進めていきます。施設敷地を活用したイベント開催も検討を進め、3-3地区に限らず中心市街地の活性化の一助にも繋がると考えています。アンケート調査の実施では、菜の花まつりでの調査に加え、他の催事やイベントでの情報収集など更なる取り組みを進めていきます。

会計年度任用職員について

質問 令和2年度より会計年度任用職員252人分の人件費3億9、923万7千円を計上していますが、予算編成時における各所管からの要望人数は何人か。予算決定においては、各課の業務量、職員の適正数についての精査は行われたのか。また、雇用期間は、1年ごとの更新となるのか伺う。

答弁 制度の導入にあたっては、地方公務員法などの改正の趣旨に則し市民サービスの低下を招かぬよう必要な人員の確保に努めるとともに、効率的な行政運営ができる組織づくりを前提として、予算編成までの過程において各所属に対して任用状況の調査を行いました。そして、実態を把握したのち、所属長とのヒヤリングを行うなど十分に協議、調整を重ねたうえで予算編成を行いましたので、各所属の要望については反映されていると考えています。

任用期間については、地方公務員法の定めにより最大1年となっており、1年ごとの任用を繰り返していくことになります。